

韓国釜山国立大学・蔚山大学ロボット工学インターンシップ[派遣]

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年09月09日 ～2023年09月19日	大韓民国	釜山大学校	・電気工学科 ・学部2年生、学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生13名、学生バイト2名、 教員2名 (釜山大学校) 学生8名、学生バイト2名、 教員1名	吉見 卓(電気工学科) 安藤 吉伸(電気工学科)



セレモニー

韓国釜山国立大学(PNU)において、電気工学科2～4年生を対象としたロボット工学gPBLを実施した。本プログラムは、釜山国立大学のロボット系研究室に滞在し、先方研究室の学生と協力して、ロボットや自動化に関する基礎的な設定課題を解決し、その結果をまとめて発表するものである。また、現地受入れ教員の研究室において、ミーティングや実験等への参加を通して研究室活動を体験するとともに、関連他研究室の見学等を通して、当該分野の見識を深めることを目的としている。

今回の参加者は、2年生8名、3年生5名の計13名で、2名の大学院生TA、2名の引率教員(教員は前半、後半で交代)とともに、9/9(土)から9/19(火)までの10泊11日の日程で渡航した。現地到着後、翌日はフィールドトリップとして釜山市内を見学し、その翌日からは4つのチームに分かれてそれぞれ与えられた以下の課題の解決に取り組んだ。

<チーム1> シリアルマニピュレータのキネマティクスの理解と応用 <チーム2> シンプルなシステムへの線形PID制御法の適用

<チーム3> 移動ロボットのためのROSの理解と応用 <チーム4> 腹腔内視鏡のためのロボットグリッパの開発

最終日には最終報告会が開催され、全参加学生よりプロジェクトへの取り組みおよび滞在中の様子に関する発表が行われ、その後の閉会セレモニーでは参加者全員に修了証が授与された。

本プログラムの内容は、学部2、3年生の参加者に対しては若干高度なものであったが、本学および現地のTAより丁寧な説明指導により、各テーマの内容をしっかりと理解することができ、当該分野の興味を深めることができた。また、プログラム期間中は、現地学生の案内で様々な釜山を体験することができ、韓国滞在をしっかりと楽しんだ。

本プログラムは、例年参加希望者が多く、人気のプログラムとなっていることから、来年度以後先方研究室の協力を得て、継続実施していく。



ワーキング



ラボツアー1



ラボツアー2



最終発表会



フィールドトリップ



現地での食事